

セメント町の魚屋さん

～磯村鮮魚店、石井鮮魚惣菜店～

小野田の刈屋漁港が閉鎖され、スーパー以外の個人の魚屋さんも数少なくなっています。その中で、セメント町には2軒の魚屋さん元気な営業しています。

なぜ2軒なのか？ それは、それぞれ違う業務を行っているからです。

磯村鮮魚店は、ただいま5代目のご主人（政治さん）が営業中。初代の小七さんは、元は刈谷で魚の仲買いをされていて、天秤棒でお魚を宇部厚南の黒石まで行商もされたそうです。しかし、3代目のご主人がセメント町にお店を出し、当時のセメントセンターというスーパーにも出店。平成4年から、大正町の現在の店舗に移転されています。4代目のご主人（軍治さん）は刈屋の漁港で、昭和46年から8～9年ほどせりこ（せりでお魚を売る人）もされていたのだそう。今は店頭販売以外に、丁寧に下処理された魚を業務用で納品していて、これがかなりの量なのとか。ただいま、お店は5人で切り盛りされています。



▲磯村鮮魚店
(0836-83-2258)
定休日 日曜祝日



▲石井鮮魚惣菜店 (0836-83-3996)
定休日 水曜日 (日・祝日は予約のみ)



もう一軒のお魚屋さんは石井鮮魚惣菜店。こちらは昭和35年からセメント町で営業されています。もともとは奥様（御琴さん）がお惣菜を作り、奥様の弟さんが魚を仕入れていたそうです。しかし47年に弟さんは阿知須サンパークにお魚屋さんを出店。セメント町のお店は現在のご主人（勝人さん）が引き継がれました。お店は鮮魚とお惣菜の二本立てで、お惣菜は9人の店員さんが、毎日、20品目以上のお惣菜と各種お弁当を作っています。法事などの仕出しの注文も受け付けています。

セメント町は小野田の鉾山が閉山する前は市内一の繁華街でした。現在のお魚屋さんはどちらも宇部の地方卸売市場の朝5時から開かれるせりで魚を仕入れた後、8時半から開店、閉店は6時です。でも以前は閉店は7時だったそうです。当時のセメント町にあった映画館は夜の11時半まで営業していて、たくさんの食堂が夜中12時ごろまで開いていました。戦前戦後の高度経済成長と共に昭和のパワー全開の町だったと言えますね。

もうすぐ平成から新元号へ。今も小野田に残る昭和レトロなセメント町には他にも個性的なお店も。ぜひ散策してみてください。(文：まっし 写真：田中 信)